

看護部

10階病棟

10階病棟は、外傷整形外科・整形外科病棟の58床です。自宅や施設で転倒し骨折した高齢者が入院し、手術・リハビリを行う病棟です。認知症患者様も増加しているため、疾患の知識だけではなく、認知症や介護保険など、様々な知識が必要となっています。

高齢患者様が出来るだけ早く入院前の生活に戻れるようPT・OT・STの専門的なリハビリを行うと共に、看護師も病棟内やベッドサイドでのリハビリを行っています。また、地域連携パスを活用し、回復期リハビリ病院への転院を勧め、患者家族・MSWとの連携や地域病院との協力も図っています。

外傷整形外科の診療開始から約3年が経過し、鎌倉市周辺だけではなく、県外からのドクターヘリ搬送や大学病院からの紹介患者様も増加しています。高齢者の骨折だけではなく、交通外傷や就労中の事故での骨折、四肢（指・趾）切断をされた患者様も入院されています。急な入院や繰り返される手術、長期入院によるストレス、受傷により失った機能に苦悩される患者様に対し、看護師は何が出来るのか考え、成長しながら看護を行っています。

今後は、外傷センターを設立し、「日本一の外傷チーム」となることを目標に、医師・看護師・リハビリ・MSWなどチーム一丸となって、より良い医療を提供していきます。